

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)8月19日(水)

## 感染抑制 個々人の意識で

京田辺市・米谷 春菜(大学生・19)

7月2日、東京都の新型コロナウイルス感染者が2カ月ぶりに100人を超えたと発表された。緊急事態宣言が出されている時は、感染者が1桁にとどまる日があつたにもかかわらず、解除とともに徐々に増加し、ついには100人を超える事態となつてしまった。なぜ、感染がこんなにも増加するのだろうか。なぜ、感染を抑制することがこんなにも困難なのだろうか。それは、一人一人の意識の差であると考ええる。ニュースのインタビュウを見ていると、「不要不急の外出は控えている」と答える人もいれば、「私1人が

自粛したところで外出する人が1人でもいけば意味がない」と自粛の必要性に疑問を抱いている人もいる。後者の意見も一理あると思うが、実際に緊急事態宣言期間の感染者数は1桁にとどまっていたのだから、その期間の一人一人の意識がとて高かつたと言える。結果に表れている以上、一人一人の意識を今より少しでも高くすれば、また感染者数を減らすことにつながるのではないか。

新型コロナウイルスはこの先数年間付き合つていかなければいけないからこそ、一人一人の意識を高めるべきである。

※無断転載不可